

平成26年度事業報告書

全 般

平成26年度の諸事業を概ね計画どおり実施することができた。

艦の修理整備については、木甲板の耐久性向上のため液体ガラス塗装工事（6年計画の2年目）に加え、日本海海戦110周年行事に備えた船体塗装等を実施した。

観覧態勢については、常設展示の充実を図るとともに特別展「三笠秘蔵 連合艦隊艦隊コレクション」を開催し、観覧層の拡大に努めた。また、平成31年度を目途とする現展示設備の大改修に着手した。

展示設備充実のために観覧料金を6月に値上げしたが、観覧者数は、近年では最高を記録した昨年度を大きく上回り、約23万3千人（昨年度比119.3%）で44年ぶりに20万人を超えることができた。

売店部についても47,157千円（昨年度比118.7%）で平成17年度に次ぐ売り上げを記録した。

1 艦の修理整備

上甲板の腐食鋼材、腐食木甲板の新替え及び船体塗装等の修理整備及び観覧者の安全対策を実施した。

(1) 官（海上自衛隊）による修理工事

（電気の部）

- ア 中甲板右舷展示室等の照明器具（13か所）をLEDに新替え
- イ 煙感知器（3か所）新替え
- ウ 蛍光灯器具（1か所）及び分電盤新替
- エ 講堂左舷エアコン修理
- オ 高圧受電設備点検・整備
- カ 航空障害灯及び艦内電気装備品目視点検

（船体の部）

- ア 後部旗甲板木甲板の一部新替（液体ガラス塗装）
- イ 後部司令塔床補修
- ウ 前部旗甲板足止め材新替（木製から鉄製）
- エ 外舷及びマスト、煙突等上甲板構造物の塗装
- オ 前後部艦橋甲板下部の腐食部及び木甲板新替（液体ガラス塗装）
- カ 後部張出甲板のマスト支持ワイヤ用開口部蓋新替
- キ 前後部マスト満艦飾滑車及びマストステーワイヤ新替
- ク 男子トイレ改修

(2) 保存会による整備

艦の威容保持及び展覧態勢充実のためと併せて、乗艦者への軽微な安全対策を次のとおり実施した。

- ア 船体の一部（補助砲周囲の外舷）塗装及び中甲板通路の清掃、ワックス掛

- イ 艦首飾りの腐食、金箔剥離部分補修
 - ウ 外舷の一部錆うち、塗装
 - エ ボートデッキの錆うち及び塗装（職員による）
 - オ 上甲板右舷前部ハンドレール取付部補修（職員による）
 - カ 前部艦橋操舵室、海図室及び司令塔の床等塗装（職員による）
 - キ 上甲板腐食箇所の部分補修（職員による）
- (3) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備
- ア 第2術科学校海士各課程学生による艦内外の清掃、真鍮磨き及び錆うち等の奉仕作業を計11回実施した。
 - イ 横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族による上甲板全面洗浄奉仕作業を次のとおり実施した。
 - (ア) 5月17日（土）約140名
 - (イ) 11月1日（土）約200名
 - ウ 9月20日（土）第1護衛隊群の艦艇乗員120名がきせ巻、清掃と金物磨きの奉仕を実施した。
 - エ 11月16日（日）「はたかぜ会」の会長古賀三笠保存会評議員以下10名が三笠周辺の除草作業を実施した。
 - オ 3月15日（日）護衛艦「はたかぜ」艦長以下乗員、家族と古賀三笠保存会評議員を会長とする「はたかぜ会」の会員80名が三笠の外舷塗装、講堂清掃及び三笠周辺の除草作業を実施した。

2 日本海海戦110周年関連準備事業

(1) 展示整備関連

- ア 電信室前チーク材甲板の設置鋼板の整備及び木甲板の液体ガラス塗装
- イ 上甲板設置の時鐘（2個）の液体ガラス塗装
- ウ 前部艦橋操舵室及び司令塔の機器等の液体ガラス塗装
- エ 長官・艦長浴室、食器室床及び舵輪（上甲板に展示）の液体ガラス塗装
- オ 長官公室、長官室の絨毯清掃
- カ 追悼室の絨毯新替
- キ 船の科学館より三笠模型（1/50）の借用
- ク 前部司令塔内にコンセント及び蛍光灯を設置
- ケ 人感スピーカー（来艦者舷門送迎用号笛）
- コ 中甲板後部主砲室壁面にテレビを設置し、主砲発射メカニズムの動画（CG）放映を開始した。

(2) 広報

- ア 産経（1. 4：東京、神奈川、埼玉版）及び読売新聞（2. 6：東京都内版）の1面全面に意見広告を掲載
- イ 「日本海海戦110周年記念行事」ポスターの駅張り

3 展観態勢

(1) 資料の寄贈等

- 絵画：戦艦三笠の鉛筆画（菅野泰紀氏）
- 書：東郷元帥書の額装（木村徳次郎氏）

伊東祐亨元帥書の掛け軸（勝間佳枝氏）
 印刷：連合艦隊解散の辞（木村徳次郎氏）
 凱旋観艦式艦隊配列図（ 同 ）
 戦艦三笠建造の基となった英国軍艦「フォーミーダブル」の設計図5枚
 （ジョン・マーロイ氏）
 工作：三笠保存記念式記念銅板（加藤武彦氏）

(2) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	26年度 受入	合計
勲章	55	0	12		67
武器	64	0	3		67
絵画	81	5	8	(1)	94
印刷	159	11	2	(3)	172
書	184	52	40	(2)	276
被服	86	0	9		95
写真	306	195	9		510
証紙	111	0	5		116
旗布	13	0	3		16
工作	123	21	12	(1)	156
陶器	19	0	4		23
彫刻	20	0	1		21
模型	32	9	37	(1)	78
計器	18	0	3		21
録音	28	0	0		28
図書	79	0	2		81
展示物品	0	8	0	0	8
小計	1,378	301	150	(8)	1,829
参考図書	2,809	0	0	0	2,809
合計	4,187	301	150	(8)	4,638

() は内数

(3) その他

- ア 日露戦争当時の艦船模型83隻を今後12年間に渡り製作する覚書を(有)フォーサイトと交わし、3隻が納入された。
- イ 今後の展示設備の大改修について検討会を2回実施した。
- ウ 上甲板左舷中部に熱中症対策のため、ミストシャワーを設置した。
- エ 船の科学館から展示のため借用した三笠模型(1/50)の展示ケースを職員で製作した。
- オ 「オープンデータによるG空間地域プラットフォーム整備事業」に参加
 総務省が平成25年度補正事業として行う同事業(責任者:坂村健(東京大学教授/YRPユビキタス・ネットワーキング研究所長))に参加した。
 本事業は、3次元地図データを充実させ歩行者移動支援サービスなど災害時

の避難所案内などを行うものである。この事業で整備された3次元データを観光に活用するもので、艦内の11箇所には位置を示す発信機（ココシルマーカ）が取り付けられており、iPhoneなどで無料のアプリをダウンロードすれば、各場所でAR技術も導入して三笠の詳しい説明を動画で見ることができるものである。

4 特別展「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」

7月14日（月）から10月31日（金）までの期間で、日露戦争時の連合艦隊及びロシア艦隊（バルチック艦隊）並びに太平洋戦争時の連合艦隊及び海上自衛隊自衛艦隊の模型約260隻を展示した。また、特に若い人たちに大好評であったため平成27年5月31日（日）まで期間を延長した。なお、特別展のポスターを京急の電車内、各駅及び近傍のJR駅に掲示した。

5 広 報

(1) 主催行事

ア 日本海海戦109周年記念行事

5月27日（火）若宮防衛大臣政務官等ご来賓及び三笠保存会会員約400名の出席の下、記念式典及び祝宴を実施した。また、裏千家淡交会横須賀支部による呈茶及び海自横須賀音楽隊による演奏が行われた。

イ 三笠こどもミュージアム（第3回）

7. 19（土）から8. 31（日）までの間、次のイベント等を実施した。
（一部休日のみ）

（ア）「書き込んで完成！三笠こどもノート」の設置

（イ）三笠スタンプラリー

（ウ）軍服着用記念撮影

（エ）ハンモック体験

（オ）みかさ工作ルームの設置

ウ 第51回船の模型コンクール

横須賀市内の小学校24校から出品された588点の作品の中から優秀作品64点を表彰し、9月14日（日）から10月14日（火）までの間、下甲板ホールにおいて展示した。なお、金賞（6点）を約1年間中甲板右舷通路に展示している。

エ 第8回子供たちのプラモデル教室

10月4日（土）上甲板後部で開催し、子供27名と保護者21名が参加した。

オ お正月企画（第3回）

正月三が日に「お正月は三笠でパワーをもらおう！」をタイトルにパワースポット巡り、スタンプラリー、甘酒サービスを実施した。

カ 第22回書初め大会

1月4日（土）下甲板ホールにおいて実施し、市内の小学校8校から参加した37名が指定課題を書き上げ、その中から優秀作品を選考し表彰した。

なお、作品は1月6日（火）から16日（金）の間、艦内に展示した。

キ 第7回新春たこあげ教室

1月10日(土)三笠公園を管理する西武パートナーズとの共催で開催した。

市内の小学生及びその家族15名が参加し、「三浦の浜で凧をあげる会」のボランティアの協力を得て、午前は自分たちで書いたオリジナルの和だこ作りを行い、午後は三笠公園内の芝生広場で凧あげに挑戦した。

ク こどもラジオ教室(第3回)

3月22日(日)(株)横須賀テレコムリサーチパーク、YRP研究開発推進協会との共催で、下甲板ホールにおいて開催し、ゲルマニュームラジオの製作に14名が参加した。

(2) 協賛行事等

ア 4月24日(木)第3回よこすか市民講座「よこすか下町ウォーキング」に協力し、三笠下甲板で約30名が聴講した。

イ 4月26日(土)から12月27日(土)までの間、横須賀市主催の「ドル旅キャンペーン」に協賛し、「米ドルを使用した三笠観覧」に協力した。(来艦者:164人)

ウ 5月10日(土)及び11日(日)、三笠公園で開催された「よこすかカレーフェスタ」に協賛し、記念艦「三笠」の入艦料を一律200円(中学生以下は無料)とした。(来艦者:6,216人)

エ 6月14日(土)及び15日(日)「横須賀YYのりものフェスティバル」に協賛し、記念艦「三笠」の入艦料を一律300円(中学生以下は無料)とした。(来艦者:3,659人)

オ 7月16日(水)「よこすか灯籠流し」に協賛し、上甲板を行事関係者のため無料開放した。(来艦者:約900人)

カ 7月26日(土)横須賀夏期防衛講座に共催し、講堂で在日米海軍参謀長の講話を行い、約200名が来艦した。

キ 8月2日(土)「よこすか開国花火大会」に協賛し、上甲板を一部同大会関係者に無料開放した。(来艦者:470人)

ク 9月20日(月)「よこすか京急沿線ウォーク」に協賛し、記念艦「三笠」の入艦料大人600円を500円とした。(来艦者:48人)

ケ 11月8日(土)及び9日(日)「よこすか産業まつり」に協賛し、記念艦「三笠」の入艦料を300円(中学生以下は無料)とした。(来艦者:約2,800人)

コ 11月15日(土)から30日(日)まで「スペシャルプラモデル展 in 三笠」に協賛し、7番砲室に艦船模型を展示した。

サ 11月18日(火)市民大学「横須賀/YRPの誇る情報通信技術」に協賛し、記念艦「三笠」と無線機の発展(太田評議員)について紹介し、約20名が参加した。

シ 1月24日(土)及び25日(日)バーチャルリアリティ「戦艦大和試験航海」を三笠下甲板ホールで実施し、450名が体験した。

ス 2月1日(日)から28日(土)まで「横須賀市民割り」に協力し、横須賀市民の三笠観覧料大人600円を300円とした。(来艦者:247人)

セ 2月7日(土)海洋教育フォーラム「これからの海洋教育—東日本大震災に学ぶ—」に協力し、三笠講堂を提供した。(来艦者：110人)

ソ 3月29日(日)「日米親善よこすかスプリングフェスタ」に協賛し、入艦料大人600円を300円とした。(来艦者：1,845人)

(3) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への協力

協力先	協力内容
テレビ東京	「モヤモヤさまぁ〜ず2」の撮影
ウォーゲーミング ジャパン	「世界の軍艦が登場するオンラインゲーム」開発のための撮影
テレビ東京 BS ジャパン	「空から日本を見てみよう」撮影
テレビ朝日	「路線バスで寄り道の旅⑧」撮影
横浜国大	放送研究会による三笠の取材
テレビ東京	「ありえへん∞世界」撮影
韓国KBSテレビ	三笠の取材
海自横須賀地方総 監部	「横須賀地方総監部ホームページ」掲載のための撮影
フリーピット(韓 国)	韓国テレビ番組製作のための撮影
愛媛南海テレビ	三笠の取材
FMよこすか	20万人達成、特別展の取材(生放送対談)
テレビ神奈川	三笠の取材
JCOM	後甲板での「サタデーファイトフィーバー」生放送
JCOM	「スペシャルプラモデル展 in 三笠」撮影

イ 雑誌等への協力

協力先	協力内容
男性ファッション 雑誌Free&Easy	三笠上甲板でのモデル撮影
東京書房	三笠司令塔の撮影
INSADE	特別展「艦隊コレクション」の取材
(株)六分儀	三笠の取材(教科書補助教材作成)
JAF	三笠の取材(JAF広報誌掲載)
教育出版(株)	動画撮影(小学社会デジタル教科書掲載)
読売新聞	「ミュージアムへ行こう」取材インタビュー
月刊情報誌Vien	三笠の取材
モノマガジン	三笠の取材
(株)エイ・テック	三笠の空中撮影(G空間関連)
朝日新聞横須賀支局	三笠の取材

(4) 実習等への協力

(ア) 職場体験実習

次の横須賀市立中学校の職場体験実習に協力し、案内板の磨き、文字塗装と金物磨きを体験させた。

- a 坂本中学校2年生4名（5月28日（水））
- b 常葉中学校2年生2名（11月5日（水）～11月7日（金））
- c 野比中学校2年生2名（1月27日（火）～1月29日（木））

(イ) 博物館実習生受入

8月25日（月）～31日（日）まで、東京大学修士課程2年生1名と日本女子大学4年生2名の学芸員実務実習に協力した。

(ウ) 横須賀海洋少年団への協力

横須賀海洋少年団の訓練に計13回協力した。

(5) 広報活動

ア 広報資料の配布

旅行シーズンに合わせて4月に関東、東海及び中部1都12県の旅行会社6,100社に、挨拶状を添え三笠パンフレット各5部を配布した。

イ ボランティアによる三笠の定時案内

土日及び祝日に三笠観覧者の希望者に348回（3回/日、延べ6,926名）艦内の案内を実施した。

ウ メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを4回配信した。

エ 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第27号を作成し、会員及び関係先に配布した。

オ 3月14日（土）神奈川県都市公園課の企画により、新都市ビル地下2階（「横浜そごう」入口）で行われた「三浦半島の魅力展示会」で三笠のパンフレットを配布した。

カ 広報記事の掲載

読売、毎日、サンケイ、デイリースポーツ、フジサンケイビジネスアイ、西日本新聞に記念艦「三笠」と特別展等のPR記事を掲載した。

キ 観光事業者等との交流

(ア) 7月17日（木）旅行業者視察ツアー参加者16名に三笠の案内を実施した。

(イ) 9月17日（水）、25日（木）及び10月7日（火）はとバスガイド研修員31名に三笠の案内を実施した。

(ウ) 9月25日（木）から28日（日）まで東京ビックサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」で横須賀市の観光情報に三笠紹介の動画を掲載した。

(エ) 3月25日（水）横須賀市主催の「メディア・ブローツアー」参加者8名に三笠を案内した。

ク 資料の貸出し

1月31日（土）から3月22日（日）の間、神奈川県立歴史博物館特別

展に「三笠艦橋の図」を貸出した。

6 観覧者

12月と1月は前年度を下回ったが、その他の月においては前年を上回り、無料を含めた総入艦者数は44年ぶりに20万人を超える結果となった。

20万人を達成した2月7日(土)には、横須賀音楽隊のファンファーレに続き、三笠保存会理事長から認定証と記念品を、横須賀市長から記念品を贈呈した。

(1) 有料観覧数

月別	平成26年度	前年比 (%)	平成25年度
	観覧人員		観覧人員
4	15,546	126.7	12,273
5	32,268	145.6	22,167
6	17,146	109.3	15,680
7	14,891	119.7	12,436
8	21,399	129.2	16,557
9	20,901	141.2	14,801
10	18,386	116.3	15,810
11	22,591	117.7	19,201
12	7,451	82.1	9,078
1	11,153	99.9	11,161
2	12,508	154.8	8,082
3	18,739	102.4	18,304
計	212,979	121.3	175,550

注：小・中学生等の無料入観者は20,369人(去年は19,993人)であった。

(2) 観覧料収入

展示整備充実のため、6月1日から次のとおり観覧料を値上げし、観覧料収入は106,087千円(前年度比140.5%)となった。

(参考) 25年度：75,496千円 24年度：70,920千円

区分	改正前		改正後	
	一般	大人	500円	大人
シニア		400円	シニア	500円
団体	一般	400円	大人	500円

※高校生、障害者は改正なし

(3) 団体観覧者

ア 団体観覧者数 56,242名(去年は48,532名)

イ 団体観覧者数上位都府県

※ ○内数字は昨年度の順位

順位	都府県	延人員(前年度比)	順位	都府県	延人員(前年度比)
1①	東京	16,417 (133.4%)	6⑩	山梨	1,768 (169.2%)
2②	神奈川	5,262 (80.6%)	7⑨	福島	1,731 (137.8%)
3④	千葉	4,989 (123.5%)	8⑥	茨城	1,706 (69.8%)

4⑤	静岡	4,657 (138.2%)	9⑦	長野	1,628 (107.8%)
5③	埼玉	4,354 (97.0%)	10⑧	群馬	1,523 (103.1%)

(4) 主要来艦者

4月	高嶋元横須賀地方総監、尚友倶楽部（旧華族の集まり）30名
	藤田元海上幕僚長他8名
	オマーン国指揮幕僚大学学長アル・ハルシ准将他教官、学生等36名
	秋山兄弟生誕地宇都宮理事長
5月	伏見博明様他11名
	静岡県自民党連盟19名
	東京都議会防衛議員連盟36名
	米海軍兵学校生徒7名
	インド国防大学学生15名
	大分県臼杵市市議会議長、事務局長
	若宮防衛大臣政務官
6月	吉川元海上幕僚長他30名
	台湾海軍士官学校学生7名
	ベン・アミー・シロニー ヘブライ大学名誉教授他3名
7月	羽村市市議会議員15名
	横須賀市姉妹都市国際交流学生（アメリカ）6名
	木原防衛大臣政務官
	イタリア国防参謀長ビネッリ・マンテッリ海軍大将ほか2名及び岩崎統合幕僚長
	国際社会学会の部会RC01参加者（20カ国）40名
	タイ留学生（大学院）4名
8月	吉田横須賀市長、俳優辰巳琢郎氏、為末大氏等G1サミットメンバー6名
9月	台湾海軍軍官学校上校総隊長李大佐他4名
	内閣府 羽深政策統括官他15名
	長崎防衛協会会長他18名
	海上保安庁海洋情報部長他4名
10月	フィリピン海軍教育訓練隊司令官スアレ少将他教官、学生等46名
	国際交流学生（マレーシア）46名
	防大留学生（インド士官候補生）2名
	防大留学生（3カ国士官候補生）10名
	海自幹部学校WPN参加者（26カ国）27名
11月	坂村YRPユビキタスネットワーク所長
	オーストラリア統合軍士官候補生2名
	韓国海軍士官候補生8名
1月	出雲大社宮司、統合幕僚長、自衛艦隊司令官、横須賀地方総監等11名

2月	シンガポール海軍士官候補生等5名
	自衛艦隊司令官、英国駐日国防武官等14名（連絡幹部任命式）
	防大国際留学生25名
3月	イタリア高等国防センター長ヴィタリアーノ海軍中将他5名
	シンガポール南洋工科大学マイケル・ラスカ氏（防衛省防衛政策局招聘）

7 会 員

(1) 会員数

休眠会員（年会費3年以上未振込、郵便物送付不可等）を退会処理とした。

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		26年度	25年度	26年度	25年度
個人 会 員	通常会員	118	109	1,142	1,230
	終身会員	89	76	2,417	2,434
	維持会員	11	2	155	150
	計	218	187	3,714	3,814
法 人 会 員	通常会員	4	8	61	60
	終身会員	0	2	22	22
	維持会員	0	1	16	16
	計	4	11	99	98
合 計		222	198	3,813	3,912

(2) 月別会費収入

（単位：千円）

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
26年度	541	536	430	473	268	316
25年度	381	614	588	279	386	164

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
448	159	364	515	556	390	4,996
218	623	708	348	588	421	5,318

(3) 会員の増勢

ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を実施した。

イ 会費未振込みの会員に対して継続をお願いするとともに、また、ゆうちょ銀行による年会費の自動払込利用を推進し減耗防止に努め、26年度末で18名が利用中である。

8 運 営

(1) 会 議

名 称	年 月 日	場 所
第9回運営委員会	26. 6. 12	

第6回理事会	26.6.19	記念艦「三笠」
第6回評議員会	26.6.19	
第10回運営委員会	26.9.18	記念艦「三笠」
第11回運営委員会	26.11.13	
第12回運営委員会	27.1.15	水交会
第7回理事会	27.3.17	
第7回評議員会	27.3.24	記念艦「三笠」

(2) 規則の改正

第6回理事会において、「就業規則の一部改正について」再雇用年齢68歳までを70歳までとすることが議決され、就業規則を6月19日付で改正することとされた。

(3) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配置	退職	採用
総務課長		魚川 洋毅
総務課長	魚川 洋毅	(総務部長兼務)

イ 26年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用	パート	計
8 ※1	3	5 ※4	16 ※5

注：※印は女子職員を示し、内数である。

(4) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

ア 靖国神社及び東郷神社の春・秋例大祭等

イ 海上自衛隊、関係官公署、友好団体等の行事

(5) 職員の研修

ア 12月3日(水)、17日(水)団体案内を担当する職員による説明発表会を開催し、相互啓発を図った。

イ 2月3日(火)から三笠職員16名が三笠観覧態勢の充実を図るため、4回に分けて遊就館、神奈川県立歴史博物館、東京国立博物館等の施設を研修した。

9 売店部

(1) 営業収入

消費税が8%に改正されたことにより4月1日から商品の価格改訂を行った。26年度商品総売上高は4,716万円で昨年度の3,974万円に比べ18.7%の増となった。

売上増加策として、次の新商品を開発した。

ア オリジナルゴルフボール

イ イヤホンジャック

ウ 2015日本海海戦110周年記念カレンダー

エ マフラータオル

オ 三笠おかき

- カ 三笠ポロシャツ
- キ アイフォンケース

(2) 通信販売

インターネット等による通信販売は、取扱件数167件、販売金額82万9千円であり、昨年と比較し件数は5.0%、金額は8.2%の増となった。

また、三笠ホームページを閲覧者が購入しやすいよう、一般的なネットショッピングの形態に改修した。

(3) その他

図録「三笠」(和文・英文)を電子書籍として販売を始めた。

10 その他

- (1) 10月24日(金)横須賀ライオンズクラブから三笠入口の看板が寄贈された。
- (2) 3月10日(火)公益財団法人認定後「公益財団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づき、初めて神奈川県の出入検査を受験した。
- (3) 「秋山兄弟生誕地」が主催するNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」再放送申請署名活動(4.22~8.20)に協力し、約3,300名の署名を提出し、10月から3月までの間再放送された。
- (4) 「軍神 広瀬中佐生誕の地巡る旅4日間」(JTB企画)は、希望者が最少催行人数に満たないことから中止された。